

## 9月市議会定例会

### 一般質問

9月10日(火)から9月12日(木)の3日間の日程で、13人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

### 9月10日(火)

自民クラブ(代表質問)  
仙波憲一議員(40分)



#### (1) こども未来について

##### ① 福祉と教育

**問** 第三期障がい児福祉計画では、児童発達支援センターを2年後までに設置とされているが、こども発達支援センターが異なる所管で存在している。具体的に説明いただきたい。

**答** 児童発達支援センターは、福祉サービスの利用対象者に対し必要と思われる療育を実施する事業所であり、計画的に日々療育を行う施設である。こども

発達支援センターは、特別支援教育の充実と一貫した支援の推進に向けて、保護者への教育相談、学校との連絡などを行う地域における発達支援および特別支援教育の中核的機関である。児童発達支援センターの設置は、経済状況などにより具体的な整備時期が見通せない状況であるが、障害児支援体制の現状に合った整備方針を考えていく。

##### ② 給食問題

#### (2) 経済活性化について

**問** 本市の産業特性を踏まえ、今後の社会変化に対応した柔軟かつ実効性のある経済政策の課題と効果的な取り組みの在り方を説明いただきたい。

**答** 経済政策についての喫緊の課題は、人材の確保である。企業の人材確保支援として各種合同企業説明会に、今年度から高校生の保護者にも参加を呼び掛けている。また、ものづくりの現場で働くゲンバ男子、ゲンバ女子による情報発信、溶接技術を競い合う溶接甲子園 in 新居浜の開催などを行っている。さらに、連携協定を締結した株式会社リクルートの知見を借り、企業の人材確保、就労者の定着

などのための取り組みを進める。  
(3) ふるさと納税について

みらい新居浜(代表質問)  
神野恭多議員(40分)



(1) 第六次長期総合計画について  
(2) 財政について

#### (2) 財政について

**問** 令和7年度の当初予算編成がスタートするに当たり、行政サービスの質を維持し、コスト削減や効率化を図り、一律カットではない編成が必要と考えるが、今後の歳出削減方法を伺う。

**答** 歳入準拠の予算編成とし、当初予算に投入する一般財源を全体的に圧縮し、歳出削減を図るため、歳入歳出両面からの大規模な見直しを図る必要がある。当初予算編成作業を例年より前倒して着手している。今後、事業の取捨選択の徹底と優先順位を明確にし、一層の効果率的な事業の推進を図っていく。

#### (3) 教育について

- ① グローバル・ジュニア・ハイスクールの今後
- ② 学校に行きづらい子どもたちへの対応
- ③ コミュニティ・スクールの

再考  
④ 学校施設の整備推進  
⑤ 特色入学選抜への対応

**問** 出願資格や準備などに対する中学生や保護者、教員の不安や負担の軽減、情報の公平性の担保について、市の認識や対応は。また、公平性のあるボランティア証明書の発行は可能か。

**答** 自己実現のために主体的に学びに向かう契機と認識しており、中学校校長会などで情報共有を図り、進路相談では、生徒や保護者の気持ちに寄り添った説明を実施し、生徒がより自己と向き合えるよう支援していく。また、本市ではボランティア手帳を発行し、積極的に活動した生徒を表彰する地域もあるため、各校区間で情報共有を図り、公平に子どもたちの活動を後押しできるよう啓発に努めている。

#### ⑥ 部活動地域移行の推進

- (4) 生成AI活用の可能性について
- (5) プロフィットサルチーム ミラクルスマイル新居浜との連携について

#### (6) 地域課題について

- ① 害虫対策
- ② 市民の森の活用推進

公明党議員団(代表質問)  
高塚 広義議員(40分)



(1)防災・減災対策について

①地震への対応と体制

**問** 市民生活の安心安全を確保するため、いつ起こるか分からない地震に備え、事前の対策が非常に重要だと考えるが、本市の地震に対する対応や体制づくりについて考えを伺う。

**答** 市としては、地域防災計画を策定し、市民、事業者、県などと連携を図れるよう取り組むとともに、物資の備蓄などに努めている。また、市民に対し、自主防災組織などへの参加促進、住宅の耐震診断、耐震改修や家具転倒防止への支援など、防災・減災対策の充実、強化に努めている。市の体制づくりについては、大規模地震発生時における初動体制の強化を図るため、タスクフォースを設置し、各対策班の活動要領などの再確認を行っており、今後も危機管理体制の強化を継続し、防災能力の高いまちづくりを推進していく。

- ②国土強靱化地域計画
- ③要配慮者利用施設の災害対策
- ④災害時の福祉的な支援

(2)福祉行政について

- ①認知症の人に寄り添う地域社会
- ②聴覚補助器等の活用への支援
- ③医療的ケア児支援センターの状況

(3)教育行政について

- ①教科書バリアフリー法の改正
- ②小中学校校舎の環境整備

(4)断らない相談支援について

**問** 介護と育児のダブルケアや8050世帯など複合的な問題を抱える相談者に対し、どんな相談も丸ごと受け付け、必要な支援につないでいく福祉の総合窓口を設置すべきではないか。

**答** 総合的に相談を受け付けできる資格職や設置場所の確保が難しい状況のため、福祉の総合窓口設置には至っていない。福祉窓口の相談対応に関しては、相談を受ける担当課と関係課や各種団体が課題を共有し、課題解決に取り組んでおり、今後も各関係者との連携を深め、孤立させることのないよう支援していく。

(5)マイナ保険証の普及について

9月11日(水)

自参改革クラブ(代表質問)  
渡辺 高博議員(40分)



(1)中学校運動部活動の地域移行に伴う変化について

**問** 中学校運動部活動の地域移行をきっかけに、小学生から大人までの一貫通貫な育成システムを、競技団体ごとに組み直すことができないか、所見を伺う。

**答** 子どもから大人までの一貫した育成システムの構築については、主に各競技団体や地域のスポーツクラブに担ってもらうことが想定される。しかし、各団体やクラブの組織体制などによって運営体制もさまざまであると考えられるため、先進事例の情報共有など連携を図りながら、システム構築に向けて支援していきたい。

(2)文化スポーツ施設の考え方に  
ついて

①東雲陸上競技場の環境整備

**問** 東雲陸上競技場の改修に当たっては、写真判定機の導入など、時代のニーズに合ったレベルアップが必要と考えるが、所見を伺う。

**答** 同競技場は、日本陸上競技連盟の公認競技場として維持できるように整備を進めている。写真判定機の導入により、タイムの正確性向上、コースごとの計測員配置が不要になること、公認記録として適用されるなど、競技場としての機能向上やアスリートの育成環境向上にもつながるため、前向きに検討したい。

- ②利用者に寄り添った施設整備
- ③ごみ処理に対する考え方について
- ①燃やせるごみの処分
- ②循環型社会の実現

(4)NEXT GIGAについて

- ①ゼロトラストの進捗状況
- ②通信ネットワークの見直し

自民クラブ

大條 雅久議員(30分)



(1)小中学校の体育館へのエアコン設置について

**問** 子どもたちの熱中症対策は

もちろん災害時避難者が安心して安全に過ごせる環境の確保の点からも小中学校体育館へのエアコン設置は早急に取り組む課題だと思いが、いかがか。

**答** 災害がいつ起こるかかわから

ない中で、避難所生活が長期化することも考えられ、避難者の環境整備の観点からも、エアコンの設置は早急に取りかかるべき課題であると認識している。大変厳しい財政状況ではあるが、小中学校体育館へのエアコン設置について、国の補助や緊急防災・減災事業債などを活用し、早期に実現できるように取り組みたい。

(2) 危険な空き家の現状と対策について

(3) 大学入学共通テストについて

**問** 市内への大学入学共通テスト受験会場誘致は進んでいるのか。また、市内の5高校に在籍されている生徒で来春共通テストを受験される方は何名いるのか。

**答** 令和5年12月に県内の試験会場を選定する愛媛県連絡協議会の世話大学である愛媛大学に、四国中央市長と新居浜市長の連名で、東予地域での会場設置に関する要望書を提出し、現在検討してもらっている。引き続き、東予地域への受験会場設置の実現に向け、協議を進める。受験者数については、令和5年度の市内高校3年生の受験者数から、約310名が受験すると見込

んでいる。  
(4) えひめ救急電話相談#7119について

(5) 市営墓地・墓園の管理費について

(6) 2024年地方自治法改正について

無党派  
井谷 幸恵議員 (10分)



(1) ホームヘルパーの増員について

(2) 要介護認定の再審査の手続きについて

(3) マイナ保険証について

(2) 現行保険証の存続

自参改革クラブ  
山本 健十郎議員 (10分)



(1) 市長の政治姿勢について

(3) 3期12年の取組

みらい新居浜  
野田 明里議員 (10分)



(1) 子育て世代への包括的な支援  
ネウボラについて

① 通いやすい施設、相談しやすい相手

② 気軽に問合せできる仕組み

③ 様々な周知

④ 更なる支援の充実

(1) 地方自治法改正の再確認について

(2) 太陽光発電の弊害について

(3) 新型コロナワクチン定期接種について

(1) 定期接種による制度の変化

(2) インフォームド・コンセントと対象者への周知

(3) レプリコングワクチン

9月12日 (木)

自民クラブ  
藤田 誠一議員 (30分)



(1) 太鼓台の万博派遣について

**問** 派遣する太鼓台の台数や選考方法、派遣に係る総額と経費の内訳を伺う。また、選考する太鼓台に求める演出方法など期

待されている点について伺う。  
(2) 現時点では派遣台数の決定に至っておらず、選考方法は、太鼓祭り推進委員会を通じて募集し、台数が超過する場合は抽選での決定を考えている。経費については、会場の施設利用料やイベント運営経費などを想定しており、総額約3千万円から5千万円を見込んでいる。今回のチャレンジを通じ、新居浜太鼓祭りの魅力を世界に発信し、地域の活性化につなげるよう取り組みたい。

(3) スポーツ環境の整備について

(4) 小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画について

(5) 効果効率的な行政運営について

① LINEの活用

② 市民課窓口の時間延長

③ 公民館の役割

**問** 市役所まで足を運ばずとも身近な公民館に住民用のパソコンやタブレットなどを整備し、リモートで市担当職員と相談できる体制を構築できないか。

(2) 公民館の役割

(3) 市民課窓口の時間延長

(4) 小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画について

(5) 効果効率的な行政運営について

① LINEの活用  
② 市民課窓口の時間延長  
③ 公民館の役割



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

(2)教育現場へのICT機器導入  
についても検討中である。

①ICT機器導入による成果  
②5つのビジョン  
③教員の意見と満足度調査  
④負担の増加

**問** 市内の学校体育館への空調設備設置について学校から要望があり、体育館の温度を測った資料も提出されている。空調設備設置の検討はしているのか。

**答** 空調設備設置は多額の費用が必要となることなどから設置に至っていないが、近年の気温の上昇は著しく、学校体育館は児童生徒の学習の場や地域住民の交流の場、避難所としても指定されているため、エアコンなどの設置は喫緊の課題である。そのため、先進導入事例の調査などを行い、コストや実施可能な工法、効率的な冷却設備についても検討中である。

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

**答** 一時的な支払いは、急患センターが医療機関の当番体制で支えられていることや不要不急な受診を控えてもらう目的で、地域医療体制を維持するためにも重要なことと考えている。近隣市の子どもの利用もあり、東予3市で統一した取り扱いを行っている状況も踏まえ、今後地域医療の在り方を検討する中で近隣市や本市の医師会と協議していきたい。

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

**答** 一時的な支払いは、急患センターが医療機関の当番体制で支えられていることや不要不急な受診を控えてもらう目的で、地域医療体制を維持するためにも重要なことと考えている。近隣市の子どもの利用もあり、東予3市で統一した取り扱いを行っている状況も踏まえ、今後地域医療の在り方を検討する中で近隣市や本市の医師会と協議していきたい。

①現状  
②教育と予防策  
③今後の取組

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

**答** 一時的な支払いは、急患センターが医療機関の当番体制で支えられていることや不要不急な受診を控えてもらう目的で、地域医療体制を維持するためにも重要なことと考えている。近隣市の子どもの利用もあり、東予3市で統一した取り扱いを行っている状況も踏まえ、今後地域医療の在り方を検討する中で近隣市や本市の医師会と協議していきたい。

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

**答** 一時的な支払いは、急患センターが医療機関の当番体制で支えられていることや不要不急な受診を控えてもらう目的で、地域医療体制を維持するためにも重要なことと考えている。近隣市の子どもの利用もあり、東予3市で統一した取り扱いを行っている状況も踏まえ、今後地域医療の在り方を検討する中で近隣市や本市の医師会と協議していきたい。

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

**答** 一時的な支払いは、急患センターが医療機関の当番体制で支えられていることや不要不急な受診を控えてもらう目的で、地域医療体制を維持するためにも重要なことと考えている。近隣市の子どもの利用もあり、東予3市で統一した取り扱いを行っている状況も踏まえ、今後地域医療の在り方を検討する中で近隣市や本市の医師会と協議していきたい。

**問** 本市では18歳までの医療費が全額無料の中、急患センターで一時的な支払いが必要である。窓口業務などの負担軽減も考慮し、一時的な支払いを不要にすべきと考えるが所見を伺う。

12月市議会定例会	
時間 午前10時開会 本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。	
開催日	内容
12月3日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託、決算特別委員長報告、討論、採決
12月10日(火)	一般質問 大條 雅久 議員 (30分)
	・ 篠原 茂 議員 (30分)
	予算質疑 藤原 雅彦 議員 (30分)
12月11日(水)	一般質問 小野 志保 議員 (10分)
	・ 渡辺 高博 議員 (20分)
	・ 片平 恵美 議員 (10分)
	・ 井谷 幸恵 議員 (10分)
	・ 神野 多誉 議員 (30分)
12月12日(木)	一般質問 野田 明里 議員 (30分)
	・ 伊藤 謙司 議員 (30分)
12月13日(金)	・ 河内 優子 議員 (30分)
	企画教育委員会開催 経済建設委員会開催
12月16日(月)	市民福祉委員会開催
12月19日(木)	委員長報告、討論、採決

みらい新居浜  
加藤昌延議員 (30分)



無会派  
小野志保議員 (10分)



無会派  
片平恵美議員 (10分)



決算特別委員会開催

10月22日(火)から25日(金)までの間、令和5年度決算認定議案の審査のため、決算特別委員会を開催しました。

22日(火)は令和5年度実施事業の現地調査(市内9カ所)、23日(水)から25日(金)までは決算の認定審査のため質疑応答を行い、採決し、承認しました。

④地域防災計画への位置づけと取組  
(2)ヘルプマークとヘルプカードについて